

「良いお医者さんになって戻ってきてね」

今年 7 月 1 日から 1 カ月、済生会新潟県中央基幹病院で総合診療科の臨床実習をさせていただきました。実習期間中は、先生方や看護師の皆さんがお忙しい中丁寧にご教授くださったり、県央地域の患者さん方も「良いお医者さんになって戻ってきてね」と快く診療を受け入れてくださったり、暖かく迎え入れていただきとても充実した毎日を過ごせました。

外来実習では初診外来を担当させていただきました。問診から身体診察を行い、数多くある疾患の中から患者さんの訴えを説明できる病気を複数想起しながら行う検査を決定する、また検査結果を見ながら診断を決めていく過程を通じて、情報の宝庫である患者さんとの対話の重要性和自分自身の引き出しとなる知識の重要性を感じました。

また、採血やフォーレなどの手技を経験させていただき、日々の検査の裏であらゆる準備が必要であることを学びました。

病棟では何人かの患者さんを受け持たせていただきましたが、常日頃から先生方がおっしゃっている、「毎日会いに行け」ということの重要性に気づけました。毎日顔を合わせることで些細な変化にも気づけるし、患者さんとの良い関係性を築くことにつながりそうです。

充実した 1 か月を経験させていただいた県央地域の皆様に感謝を申し上げます。医師としての自覚と夢を忘れず、県央地域の皆さんに胸を張れるような医師になりたいと思います。